

第25回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIAで活躍し、さらなるレベルアップを誓う川島丈一郎君、小林なゆ花さん、中村綾奈さん、大野琉護君（写真左から）



シヨパン国際ピアノコンクで活躍

望月音楽教室南箕輪教室 小学生4人さらなる高み目指す

南箕輪村の望月音楽教室南箕輪教室に通う小学生4人が、地区予選を経て1月に神奈川県で開かれた「第25回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA」で活躍した。同村南部小学校4年の小林なゆ花さん(10)が3、4年生の部、伊那市伊那東小2年の川島丈一郎君(8)が1、2年生の部でファイナルとなるアジア大会まで初進出し、小林さんは奨励賞に輝いた。同村南

箕輪小5年の大野琉護君(11)と同市伊那小4年の中村綾奈さん(10)も全国大会で堂々と演奏した。

全国大会で金賞に輝き、進んだアジア大会でも入賞を果たした小林さん。今月開かれた日本バツハコンクールでも奨励賞を獲得した。「苦手な分野を克服し、古典から近現代まで深めていろいろな曲に挑戦したい」と前を向く。

全国大会は銀賞で、夢のアジア大会の舞台を踏んだ川島君。3歳でピアノを始め、自分のレッスンを動画で何度も見直す努力家。得意のワルツ系で今大会も勝ち進み「もつと指が回るようになりたい」とさらなる高みを目指す。

大野君は昨年はアジア大会に進んだが年代カテゴリーが上がる中で、さらに高いレベルの精鋭にもまれ「もつと考えて練習したい」と話す。

中村さんは同コンクール初挑戦で全国まで進んだ。4歳からピアノを始め、上手に弾ける喜びを糧に「もつといっぱい弾きたい」と意欲的だ。教え子たちの快挙に教室を主宰する望月玲子さん(64)は「難しく、厳しいコンクールで、全国に出場できるだけでも二重丸。この子たちの良さは努力して頑張れるところ。ハートが強くて自立している。自分のやりたいことに一歩踏み出せるよう今後も育てたい」と目を細めた。

(勝村誠之)